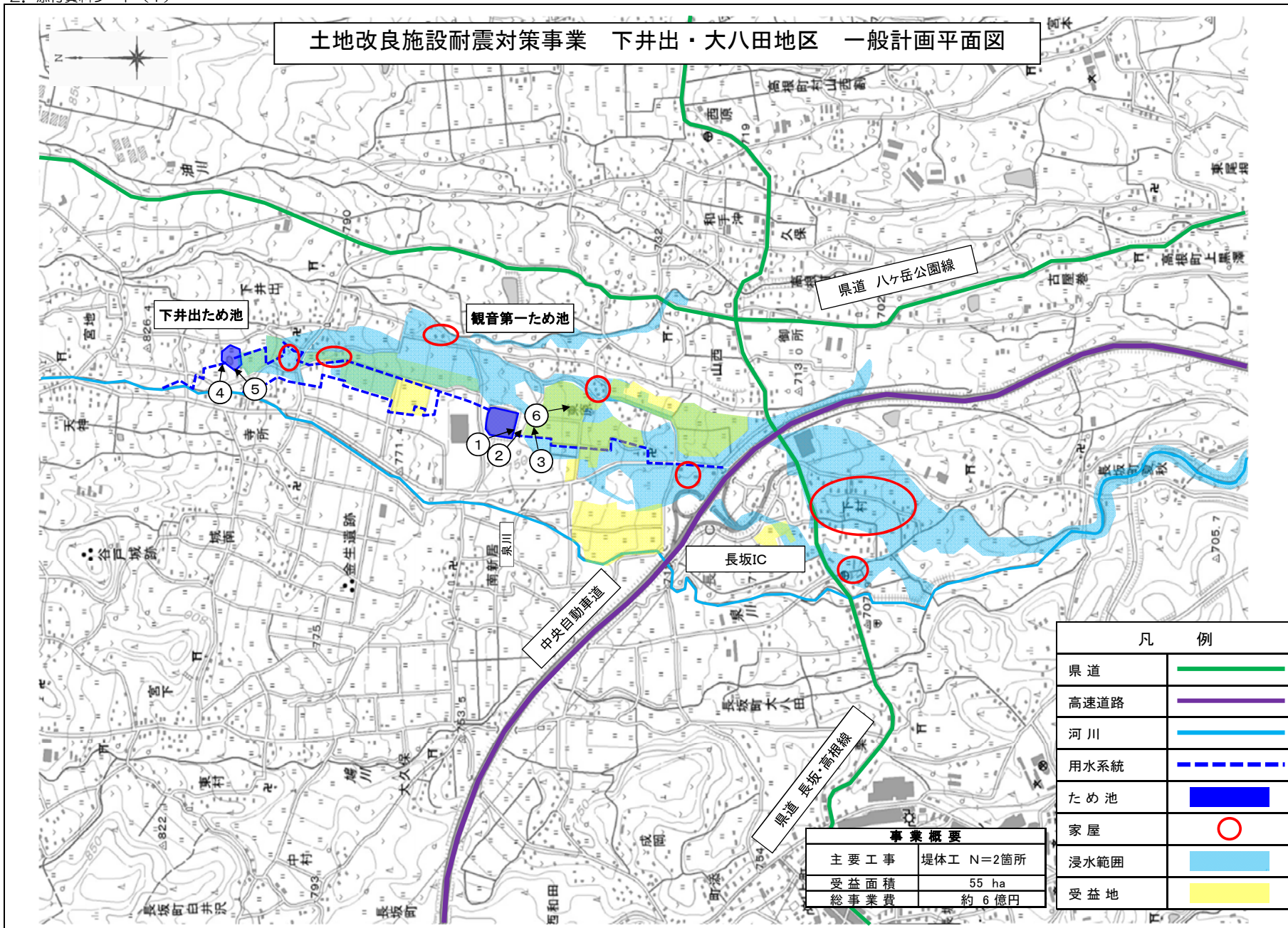


1. 事業説明シート

事業名	土地改良耐震対策事業 (国補)	事業箇所	北杜市大泉町下井出、長坂町大八田	地区名	しもいで 下井出・おぼった 大八田	事業主体	山梨県																												
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 観音第一ため池、下井出ため池は北杜市北部に位置し、水田用水を確保するための重要な農業施設である。 しかし、これらのため池は築造から60年以上が経過しており、機能診断の結果、堤体が地震時に所定の安全率を満足しておらず、また洪水吐の断面不足となっていることが判明した。 堤体下流域には人家等があり、ため池堤体が決壊した場合、甚大な被害のおそれがあるとともに、用水の安定的な供給に支障を来すため、早期に耐震化対策等を実施し、住環境の安全、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るものである。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 <input type="checkbox"/> 洪水被害危険度の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ため池決壊の構造的危険度 81点\geq67点※ ・ため池決壊に伴う下流域への影響度 29点\geq9点※ <p><input type="checkbox"/> 副次目標 <input type="checkbox"/> 農業用排水能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設老朽度 (使用年数64年) \div (耐用年数40年) =1.60\geq1.00※ ・用排水能力向上率 (計画排水能力1.36m³/s) \div (現況排水能力1.05m³/s) =1.30\geq1.0※ (※評価基準値) <p><input type="checkbox"/> 副次効果 <input type="checkbox"/> 農地の保全</p> <p><input type="checkbox"/> 既存施設の崩壊危険性の排除</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 妥当でない</p> <p><input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本地区の整備は、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に位置づけられている国民の生命及び財産を保護するため、防災工事等の集中的かつ計画的な推進に資するものであり、行政が行うべきである。 <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地改良法施行令第50条第1項1の3により県が事業主体となって行うべきものである。 <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>600 百万円</td> <td>工期</td> <td>R3 ~ R6</td> <td>基準年</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>505 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">865 百万円</td> </tr> <tr> <td>事業費用</td> <td>450 百万円</td> <td>災害防止効果</td> <td colspan="2">871 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他費用</td> <td>55 百万円</td> <td>維持管理費節減効果</td> <td colspan="2">-6 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td>1.71</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い施設に改善する上で必要な整備量としている。 <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受益面積規模、事業対象工種から、土地改良施設耐震対策事業で対応することが妥当である。 <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ため池は、生物の多様性の確保をはじめ多面的な機能を有する施設であることから、ため池特別措置法に基づき周辺環境との調和に配慮する。 <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期着工の要望有り 				総事業費	600 百万円	工期	R3 ~ R6	基準年	R2	経済効率性	費用	505 百万円	便益	865 百万円		事業費用	450 百万円	災害防止効果	871 百万円		その他費用	55 百万円	維持管理費節減効果	-6 百万円		B/C		1.71			
総事業費	600 百万円	工期	R3 ~ R6	基準年	R2																														
経済効率性	費用	505 百万円	便益	865 百万円																															
	事業費用	450 百万円	災害防止効果	871 百万円																															
	その他費用	55 百万円	維持管理費節減効果	-6 百万円																															
B/C		1.71																																	
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 堤体工 N=2箇所</p> <p>②着手年度 令和3年度 ③完成見込年度 令和6年度</p> <p>④総事業費 約600百万円 (国費330百万円(5.5/10) 県費204百万円(3.4/10) 市費66百万円(1.1/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>測量・地質調査・設計</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>堤体工</td> <td>150 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>堤体工</td> <td>150 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>堤体工</td> <td>140 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>堤体工、付帯工</td> <td>130 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし 				令和3年度	測量・地質調査・設計	30 百万円	令和4年度	堤体工	150 百万円	令和5年度	堤体工	150 百万円	令和6年度	堤体工	140 百万円	令和7年度	堤体工、付帯工	130 百万円	<p style="text-align: center;">総合評価</p> <p style="text-align: right;">[貢献度ランク: a]</p> <p>(4) 事業位置図等</p>																
令和3年度	測量・地質調査・設計	30 百万円																																	
令和4年度	堤体工	150 百万円																																	
令和5年度	堤体工	150 百万円																																	
令和6年度	堤体工	140 百万円																																	
令和7年度	堤体工、付帯工	130 百万円																																	



2. 添付資料シート(2)



① 観音第一ため池 全景
安全率(地震時) $0.63 \leq 1.20$ (基準値)
貯水量 33,000m³、堤高 H=7.0m



② 観音第一ため池
堤体の変形が確認されるなど、堤体が不安定な状態となっている。



③ 観音第一ため池
堤体の安定性が確保されておらず地震時に堤体が決壊する危険がある。



④ 下井出ため池 全景
安全率(地震時) $1.84 > 1.20$ (基準値)
貯水量 5,000m³、堤高 H=2.9m



⑤ 下井出ため池
洪水吐の断面不足により、豪雨時には溢水し、ため池が決壊する恐れがある。



⑥ ため池下流には人家があり、大型地震の際には甚大な被害のおそれがある。